



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

国際ロータリー2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2437回(本年度第24回)例会 2009.1.6

●例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場/東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

樋渡 美智子

明けましておめでとうございます。

変革の時代日本として、「日本の3つの力広げる好機」という提言を目にしました。

① 1,500兆円の個人資産と外貨準備1兆ドルの健全資金

② どの分野にもある世界一の技術水準

③ 額に汗して働く労働倫理

これらを多くの人々を幸せにする制度の設計を世界に広げていく好機という。

さて、1、2年前の『広報つるおか』1月1日号の市長日記は、「風景一新」という題でした。このなかに次の様な一文がありましたので、抜粋させていただきます。「…景色自体はいつも見慣れているが、そのいつも見慣れているものが、元旦には全く一新した様に感じる。今年の雪におおわれた風景も、道ゆく人も新鮮に見えろしたら、自分の気持ち・心が変わるからでしょう…」

今年の干支は、すでにご存じの通り丑年。己丑(つちのとうし)です。守りや母性を表す己(つち)とマイペースの丑(とうし)が結びついているので、人々は大きな勝負をせずに地道にコツコツと取り組む一年という。

牛で思い出することがあります。田んぼに苗を植える前に「しろかき」といって田を耕し、やわらかくする。そのためには、牛や馬は大きな力となります。わが家は、牛を飼っていたが、その牛のたづなを引くのが私の仕事であった。ところが、牛がようやく一枚の田を耕し終えようとしている時に、馬を使っている家の田は、すでに二枚目の途中です。後ろで

「まんが(馬具?)を押している兄へ「なんでわが家は、馬でなく牛なんだ。」と尋ねたら、兄は「今にみている。馬は動かなくなるから。」と答えました。やがて、兄のいう通り、馬はてこでも動かなくなっているのです。わが家の牛は、動作は遅いが、コンスタントに動く。

丑年の今年のキーワードは、粘り、備蓄、堅実といわれます。鶴岡ロータリー50年。この節目の年。粘り、備蓄、堅実と意義深い一年であるように願いたい。

幹事報告

越智 茂昭

ガバナー事務所

○ロータリー情報委員会セミナー

日時:1月31日(土)13時30分登録開始

場所:パレスグランデール 登録料:1,000円

○1月のロータリーレート

88円/1ドル(現行96円)

○今後の行事連絡

3/14(土) 次期会長研修会(PETS) 滝の湯H

4/25(土) 地区協議会 パルテ

5/30(土) クラブ事務局担当者会議 滝の湯H

◎理事会報告

1.寒鰯家族例会以下の内容で承認

日 時 1月20日(火) 18時30分より

場 所 湯野浜温泉 華夕美日本海

登録料 会員4,000円 家族2,000円

2.ガバナーエレクト事務所開設資金について

50周年記念式典終了後、理事会で会員の協力について審議・決定する。

1月は…

ロータリー理解推進月間

出席報告

会員数	46名
出席	35名
出席率	81.40%
前々回確定出席率	83.72%

■RI会長 李 東 建 ■地区ガバナー 武田和夫
■会長/樋渡美智子 ■副会長/佐藤孝子 ■幹事/越智茂昭
■会報委員会/松井 亨・北川米三

事務局:鶴岡市馬場町11-63鶴岡産業会館3階 TEL (0235)28-3375 FAX (0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp



創立50周年式典
2009年4月18日

年男スピーチ

私の歩んできた道

加藤 功



1. 農との出会い

(1) 農への意欲

農（学）への道を選んだ時期は、
高校を卒業し、大学進学を志したときに始まります。

1つは、鶴岡市に創立間もない山形大学農学部があったことから大学に進学することになりました。

2つは、大学時代に農村問題のグループ研究会を作り学生ゼミナール全国大会で発表する機会を得た事です。3つは、京都大学大学院にて充実した院生生活を送ることができたことです。

(2) 農への関心と態度

1つは、農学は私が生きるための職業となっていることです。農を学ぶ者としての私は農の下僕（しもべ）であり、農への使命感を強く持つようになりました。2つは、農は人間が生きるための本質になっていることです。農業は人間生存にとって計り知れない無限の可能性を持った産業です。3つは、農業・農民は国の本であるという考え方に強い関心を持つようになった事です。

2. 農に学ぶ

(1) 助手時代（昭和 38 年～ 52 年）14 年間

助手 14 年間の前半には、調査・研究活動を行った成果を「農業経営分析の理論と実証的研究」としてまとめ、京都大学から博士号を授与されました。

(2) 助教授時代（昭和 52 年～ 62 年） 11 年間

私は寒冷地作物学講座で生産管理学分野を担当することになりました。東北南部地域では水田利用方式として二年三毛作付方式が提示され高坂にある本学附属農場で試験を行うことになります。

(3) 教授時代（昭和 62 年～H15 年）15 年間

寒冷地作物学講座調査・研究活動での私の最大の課題は、農業生産管理学の構築でした。それが定年間際になって「農業生産管理序説」としてまとめることができました。私は、農学概論そして農学原論を講義してきました。それを通じて次の3つの事項を深く認識することができた。

1つは、農により自然の恵の尊さを知る事。

2つは、農は人間の偉大さを証明する事。

3つは、農は人間と自然との共生の環境を作る事です。

本日、わざわざ聴講くださいました皆様に感謝申し上げます。

★科学技術の発展

迎田 健



皆様、明けましておめでとうございます。私が生まれたのは、昭和36年、もの心がついたころ熱心にみていたのは鉄腕アトムでした。

鉄腕アトムといえば科学の子ですが、私たちも科学の発展の中に生きてきた感じがあります。

昨年科学分野において4人も日本人がノーベル賞を受賞しました。日本では科学の基礎分野が技術分野に比べて弱いといわれてきましたが、昭和の先人たちの努力がようやく結実したということでしょう。今後の発展が期待できると思います。

しかし、科学技術はますます多様化する傾向にあります。それに流されない自分を形成することも大切なことも考えるこのごろです。

今年もよろしくお願い致します。

委员会報告

SAA・出席委員会

●ビジター

池田徳博（鶴岡西ロータリークラブ）

●メイクアップされた方

藤川 享胤	阿部 純次	足立 篤司	樋渡美智子
秦 幸助	塚原 初男	富樫 松夫	富田喜美子
樫野 隆博	佐藤 友行	吉野 隆一	佐々木喆彦
青柳 孝治	加藤 恒介	真島 吉也	越智 茂昭
斎藤 昭	佐藤 孝子	若生 恒吉	

親睦委員会

●丑年・年男祝

加藤 功 阿部 純次 榎本 政規 富樫 松夫
渡辺 英一 迎田 健

● 会員誕生祝

魚住 政喜 (1/15) 本間 昭吉 (1/26)

●配偶者誕生祝

富田 晋吾様 大塚 節子様 石田喜美子様
青柳 芳様 吉野 京子様 嶺岸 まき様

● ● スマイル

樋渡美智子君 クリスマス例会に孫3人お世話になりました。来年も出たいと言っておりました。

佐藤孝子君 クリスマス例会には、大勢で参加させていただきました。今年も両立で頑張ります。

塚原 初男 君 本日の理事会で次年度へのご配慮に
深謝いたします。

加藤 功君 ①年男祝いに感謝。②妻の母校東洋
大学が箱根駅伝で総合優勝し感動したので。